



教育目標  
 真理(まこと)を求める生徒  
 情操(こころ)を深める生徒  
 身体(からだ)を鍛える生徒



高め合い 磨き合い 感動し合い  
 「愛」いっぱい真岡東中

6月1日からの本格登校。実質的には2か月あまりの第一学期でした。臨時休校や分散登校を経ての1学期で、期間こそ長かったですが、生徒たちにとっては、あっという間の1学期だったことと思います。その間、新型コロナウイルス感染症対策のため、ご自宅での検温そして検温表の記入、学校ではサーマルカメラによる検温など、これまでの日常になかった行動が付加されました。保護者の皆様にもご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、8月1日からは、2週間ですが夏休みとなります。感染への不安から、制限の多い夏休みとなろうかと思いますが、夏休みだからこそできることを一つでも見つけて、チャレンジして欲しいと思います。

## 部活動の本当の意味

7月8日に「部活動引継式」を実施しました。そのときの様子は、HP等でもお知らせしておりますが、それは感動的な引継式でした。3年間の部活動の思いを声を詰まらせて話す3年生。その様子を瞬き一つせず、凝視する1・2年生。最後の校長挨拶では、3年生のその熱い思いに感動して、言葉になりませんでした。

今年の3年生は、春季大会そして総体の中止と、目標とすべきものを失ったかに思いました。正直、3年生に7月まで部活動を続けさせてよいのか迷ったこともありました。しかし、そんな迷いは全く無用でした。これまでの3年間で日々努力してきたこと。幾度とない友とのトラブルを乗り越えた本当の友情。そして、顧問との固い絆。大会はなくとも、3年生は部活動を通して、たくさんのことを学び、かけがいのない大切なものを得ることができたと確信しました。

コロナの世界だからこそ知り得なかった部活動の本当の意味。それを3年生が教えてくれました。

## 全校朝会 (7/15) 校長講話

7月15日の全校朝会における校長講話では、【本当の幸せ】というテーマで、ZOOMを使って全校生徒に話しました。

〈朝会講話の要約です〉

多くの人には、優位に立ちたいという深層心理があり、それは辛いことに耐えたり、努力したりすることに繋がるので決して悪いことではない。しかし、優位に立つ方法として、自分自信を高めることであれば良いが、他人を下げることで優位に立とうとしてしまうことがある。それが無意識の中で行ってしまういじめに繋がる。

本当の幸せとは、自分も他人も幸せだと感じられる空間をつくること。

いじめは絶対に許されません。人の嫌がることを絶対にしない、そう誓って下さい。

生徒たちは、各教室の電子黒板を見つめながら、真剣に話を聞いていたとのことでした。

十人十色という言葉のとおり、300人いれば、300通りの価値観や生き方があります。その多数の生徒が毎日、一緒に生活をすれば、価値観の違いなどから摩擦は生じます。真岡東中にいじめがないとは思っていません。教師が見えないところで起きている可能性もあります。

「いじめは絶対に許されない」ということを、学校はもちろんのこと、保護者の皆様とも共有し、共通の行動を進めていければと思います。

もし、お子様の様子で気になることがございましたら、どんな些細なことでも結構です。担任等までご連絡下さい。

多くの人が持つ

優位に立ちたい 深層心理



## 本当の幸せ

自分も他人も幸せだと感じられる空間をつくること

「いじめ」は絶対に許されません。人の嫌がることを絶対にしない。お願いします。そう誓って下さい。



## 2週間の夏休みをどう生かすか

今年度は臨時休校の影響で、夏休みが2週間に短縮となりました。夏休みは、小中高生にとって最も楽しい期間です。昔は朝から晩まで、野山を駆けずり回ったことを思い出します。

たかが2週間、されど2週間。どう過ごすか、何をするかを明確にして、夏休みを迎えてもらえればと思います。

3年生は、部活動も終了し、いよいよ受験に向けた準備の期間となるでしょう。特に、苦手な教科の克服の2週間にすると良いかと思えます。1・2年生は、代替わりをした部活動と勉強との両立が必要になるかと思いますが、それだけでなく、一つでも自分が興味を持っていることにチャレンジして欲しいと思います。

どんな経験も無駄にはなりません。多感な今だからこそ、多くのことを吸収し、自分のものにすることができます。

8月17日の第二学期始業式に、「こんな夏休みを過ごしました。」と胸を張って言えるような、有意義な夏休みを過ごして欲しいと思います。ちよっぴり日焼けした元気な生徒の皆さんに会えることを楽しみにしています。

